



創立150年

わにっこり

教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子

和邇小だより 令和5年 12月号

児童数396名 文責 澤村幸夫



こうよう 紅葉 まっさかり

運動場にあるイロハモミジが紅葉まっさかりです。真っ赤に色付いた見事な姿は、毎年見ても新しい感動を覚えます。やがて、寒い冬のあいだに木が眠るための準備をします。落葉です。葉があると栄養を作り続けなければならないため、冬眠できなくなるからです。来るべき春には新芽が萌え、命の鼓動が感じられます。

人間もまた、栄養を蓄える必要があります。心のエネルギーです。小学生時代を和邇小学校で過ごす子どもたちには、様々な経験をする中で、他者と関わりながら、失敗を恐れることなく、何事にも挑戦してほしいと思います。校舎の壁面に掲げられた創立150周年のスローガン「これまでも これからも 想いは続く 和邇小学校」のように、地域に愛され、地域とともに成長しているみなさんは、150年の伝統を受け継ぎ、未来に向かって力強く歩んでほしいと思います。



和邇小学校の
ホームページ

和邇小学校のホームページをご覧ください。
子どもたちの様子を掲載しています。

学校だより「わにっこり」のカラー版は、和邇小学校の
ホームページから「学校便り」をクリックしてください。

6年 修学旅行 11/1・2



11月1日(水)、2日(木)、楽しみにしていた6年生の「淡路・姫路」の修学旅行は、2日間とも晴天に恵まれ、1泊2日の行程を無事終えることができました。淡路方面の旅のテーマは「防災」です。明石海峡大橋を渡り、淡路ファームパーク「イングランドの丘」で動物や植物と触れ合い、「北淡震災記念公園」で語り部さんから28年前に発生した「阪神淡路大震災」の体験を聴かせてもらいました。その後、「野島断層」や「メモリアルハウス」を見学し、宿泊の旅館「寿楼 臨水亭」に着きました。2日目は「姫路セントラルパーク」です。仲間とまわる

遊園地とドライブスルーサファリが迫力満点でした。実行委員会を中心に、子どもたちが主体的に運営し、宿泊を伴う集団での生活において良い姿を随所で見せてくれたことが、何より嬉しかったです。左の動画をぜひご覧ください。



修学旅行ダイジェスト

紙面配布のみ表示



期間限定 12/1~12/31

創立150周年特集 記念式典 11/10 (於:和邇文化センター)

実行委員会で企画・準備された「和邇小学校創立150周年記念式典」が和邇文化センターホールにて開催されました。第1部は「式典」で、挨拶や祝辞、記念品の贈呈が行われました。第2部は、在校生代表の6年生が進行を行う「お祝いの会」で、和邇小学校の先輩である桂紅雀さんのお話や落語鑑賞があり、最後にみんなで校歌を歌いました。地域や関係者の皆様にも参加いただき、心温まる式典になりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



創立150周年特別企画 「思うは招く」植松努さん講演会とロケット教室 11/24



ドラマ「下町ロケット」のモデルとなったと言われる植松電機社長 植松努さんが、北海道からはるばる来校いただき、4～6年生に60分のお話、1～3年生に40分のお話をいただきました。夢や希望を持ち続け、失敗してもあきらめずに前に進むとすの勇氣を与えてもらい、私自身、感銘を受けました。特に「ちがう」は「すてき!」や「思うは招く」の意味をわかりやすく教えてもらい、何事にもチャレンジして生きていこうと決意しました。6年生

については、本物のロケットを自分の手で作り、全校児童が見守る中、77機のロケットを大空に打ち上げることができました。やり続ければきっと夢は叶う、失敗しながらも小さな成功体験を積み上げることの大切さに気がきました。ダイジェスト版として動画にまとめましたのでご覧ください。



講演会・ロケット教室

紙面配布のみ表示



期間限定 12/1～12/31

わにっこレインボーロード完成 11/10

児童会では、創立150周年のお祝いとして、「大津市夢プロジェクト」を活用し、校門までの坂道の壁面に全校児童が描いた花の絵を掲示しました。成安造形大学の皆様にも企画当初からお手伝いいただきました。手形を使い、カラフルな花を全校児童で描きました。11月10日に完成除幕式を行い、その

レインボーロード

紙面配布のみ表示



期間限定 12/1～12/31



様子を見童会で動画にまとめましたので、上のQRコードからご覧ください。

創立150周年記念植樹 11/24



創立150周年の記念に、4m近くある桜の木を2本寄贈いただきました。11月24日には、全校児童と実行委員の皆様で、運動場に植樹しました。各学級からの代表児童が土を入れ、水をかけました。この桜の木を大切に守り、美しい花を咲かせる日が待ち遠しいです。

創立150周年 寄贈図書

同じく、歴史図書を寄贈いただきました。とても興味深い本です。大切に読ませていただきます。



PTA 創立 150 周年祭音楽鑑賞

PTA150周年事業部では、11月10日の150周年祭に合わせて、和楽器「蓮風」の鑑賞会が開催されました。とても迫力のある演奏で、太鼓や尺八などの楽器紹介や子どもたちによる演奏体験がありました。子どもたちはカッコいい演奏に聴き入っていました。



子どもたちはカッコいい演奏に聴き入っていました。

和邇小学校歴史写真展

11月14日(火)から29日(水)まで、平和堂和邇店2階、ギャラリー都千本にて、地域の皆様から提供いただいた貴重な写真94点を展示しました。多くのアンケートの中の一部を紹介します。

歴史のある和邇小学校の足跡を写真を通して感じることができました。先日の150周年記念式典からも歴史の重みと未来を見据えた和邇小のあるべき姿を垣間見ることができ良かったです。今後も地域の中で地域にも育まれつつ、よりよい子どもたちの成長を願います。和邇小のさらなる発展を祈りつつ。関係者の皆様、ありがとうございました。

4年 やまのこ 11/16・17



4年生は、森林環境学習「やまのこ」で葛川少年自然の家に1泊2日の日程で出かけました。

1日目はあまごの串づくりに始まりサ

ーチザツリー、あまごつかみと間伐材を使ったおはしづくりを行いました。キャンプファイヤーは盛り上がりを見せました。2日目は「野外炊事」です。かまどの準備と火起こし、食材の準備



や後片付けまで、みんなで協力して活動することができました。子どもたちにとって、充実した2日間となりました。ダイジェスト版の動画にまとめましたのでご覧ください。

森林環境学習やまのこ

紙面配布のみ表示

期間限定 12/1~12/31

シリーズ ウェルビーイング 子どものWell-being 第8弾 「レファレント・パーソン」



学校のはたてはぜ
本文との関連はありません。

Well-beingとは、心身とも満たされた状態を表すもので、「幸福」とも訳されます。現在、あらゆる分野で注目を浴びていて、さまざまな調査や研究がなされています。子どもたちが、自分が幸せだと感じると、学びのパフォーマンスが向上し、学級や学校に良い影響をもたらすことになります。当然、学力も向上し、意欲向上とともに生活が安定します。

では、いったいどうすれば、「子ども自身が幸せだと感じるか」ということになります。シリーズ第8弾は、「レファレント・パーソン」を取り上げたいと思います。

レファレント・パーソン
Referent person とは、「尊敬できる人」という意味です。私たちは誰もがレファ

レント・パーソンの影響を受けています。行動の判断をするとき、本人に良い影響を与えてくれるばかりでなく、自己肯定感を高めてくれます。レファレント・パーソンとは、自分の在り方や生き方の価値基準の参考になる人物です。「自分ではできない」「ダメかもしれない」「自信がもてない」と自己肯定感を低下させているとき、私たちは必要以上にネガティブになり、「できない理由」ばかりを探す思考に陥ります。そんな時は、尊敬する偉大なレファレント・パーソンなら「どう考えるか?」「どうアドバイスしてくれるか?」と視点を変えていくのです。

私のレファレント・パーソンは、植松努さんです。今から10年前のTEDxSapporo2014で聴いた植松努さんのスピーチが衝撃的でした。「人間の生き方はこれだ!」と思いました。それ以降、私は、植松努さんの著書をすべて読みました。みなさんも、自分が信じるレファレント・パーソンを見つけてください。「幸福」になれます。